

平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	2	担当部課名称	建設部公園緑地課
事務事業名	住区基幹公園整備事業		
見直しのタイトル	制度の見直し		
添付資料 有無	無		

1 現状における課題

市内の公園については、市民の健康増進やレクリエーション・地域コミュニティの場として、また防災上の観点からも、身近な距離にどなたでも利用できる公園を少しでも多く確保していく必要があり、公園の拡充に努めている。

新たに公園用地を購入し整備することは、事業費が高額であること、かつ買収期間が長期化することが想定されるため、現在は借地による公園整備を進めているが、既成市街地において公園候補地を見つけることが難しく、現在の制度（茅ヶ崎市グリーンオアシス計画推進に関する要綱）について検討する必要がある。

2 業務改善の趣旨及び具体的内容

【趣旨】

オアシス公園（借地公園）の要綱の内容（基準等）を見直し、借地公園の拡充を図る。

【具体的内容】

- ・設置基準 1箇所につき300㎡を180㎡に縮小する。
（まちづくり条例 3000㎡の開発（住居系）につき6%の公園→180㎡を準用）

3 改善により期待できる効果

【全体】

- ・用地面積基準を縮小することにより、借地公園候補地が増加し、市民の身近な公園を増加できる。

4 実施スケジュール（概要）

1 2～3月 要綱の改定準備
4月 運用開始

5 実施結果の振り返り

公園整備における敷地最低面積について、これまで300㎡であったものを、まちづくり条例の基準を準用した考え方で整理をして180㎡とし、茅ヶ崎市グリーンオアシス計画推進に関する要綱を改正しました。